



第68号

発行  
仲手原自治会

8月24日(土)、25日(日)にわたり晩夏の風物詩である「なかくてはら夏祭り」が盛大に開催されました。

△会場となった二丁目公園には両日18時30分からの開会に合わせて町内から集まった大勢の人で賑わいました。浴衣を身に纏った子どもたちは、恒例のマザークラブによるスパーボール拾いや輪投げ、第2どんぐり学童によるゲームやくじ引きなどのテントに並び、お祭りらしい遊びを楽しんでいました。また同じく恒例になった自治会青年部による模擬店には、綿菓子に加えて新たにフランクフルトが登場し大好評を博していました。その後、お祭りの目玉である盆踊りが始めると会場の熱気は一段とアップ、公園中央に組まれた櫓を中心にたくさんの方が輪をつくって踊っていました。盆踊りには今年



令和六年  
夏祭り

大ヒットした楽曲「プリン・パン・パン・ポーン」が新たな演目として取り入れられ、その曲が流れ始めると小学生を中心にみんな競って踊る微笑ましい光景が見られました。

8.24~25

方、25日の朝に予定されていた山車曳きでしたが、当日朝発表された熱中症警戒アラートを受け急遽中止となり、残念ながら町内を回ることはできませんでした。代わりに自治会青年部によって、山車に乗って記念撮影や太鼓を叩くことができる場を設け、また準備していたお菓子を配布するなど臨機応変の対応がなされ、参加者は嬉しそうに自治会館を後にしていました。年々暑さが増していることを念頭に、今後も参加者の安全を最大に考慮しながらより良い形を模索していくことでした。

こうして、酷暑の中ではありませんでしたが晴天に恵まれ大成功で夏祭りは終了しました。裏方として設営などの準備、当日の運営にあたってくださった皆様、会場警備などにあたってくださいました消防団の皆様も本当にご苦労様でした。

(加藤篤志)



7月21日(日)午前8時、横浜地方が震度7の地震に襲われた、という想定のもとに港北小学校地域防災拠点訓練が開催されました。

8時30分には避難所が開設され、9時ごろから仲手原、仲手原南、篠原台町、篠原東、篠原西町、菊名南の各自治会からの避難者が集まってきました。9時40分アマチュア無線を使って港北区役所への避難者数報告が行われてから、訓練が始まりました。



体育館に集合した各自治会の避難(参加)者

今年の訓練は左記のとおりで、各自治会ごとのグループがそれぞれの設備を順に回って説明を聞き、一部の設備では操作を体験できました。



耐熱ポリ袋による炊飯



仮設トイレ案内



防災倉庫

耐熱ポリエチレン袋で炊いたご飯は訓練終了後参加者に配布され、おいしく戴きました。



災害時給水所設備



マンホールトイレ



非常用発電機

港北区防災キャラバン

「木造住宅やブロック塀の安全点検について」

(一社)神奈川県建築士事務所協会 横浜支部長  
横濱支部長  
株式会社・ブレインズ建築設計事務所 代表

田中行弘氏

9月22日(日)10時より自治会館において港北区主催の「防災キャラバン」が開催されました。

今回は、昭和56年5月以前に建てられた住宅は無料で耐震診断を受けられること、診断の結果脆弱部分が見つかり耐震改修工事を行う場合は横浜市から補助金が出ることなどを中心に約2時間の講義がありました。



講演中の田中行弘氏

西暦1703年12月31日に発生した元禄地震では、仲手原地域の震度は6前後と想定されていますが、液化の可能性はかなり低かったと考えられています。

古い耐震基準で建てられた木造の「筋かい」の状況を診断し、「筋かい」を増やすなどの耐力壁補強の提案がありました。ブロック塀についても、高さ、厚さ、控え壁、基礎、壁のひび割れなどの状況を診断し、問題があれば耐震改修をすべきです。家屋やブロック塀を併せた平均改修費用は300〜350万円と考えられ、一般世帯で最高100万円の補助制度があります。

建築着工時期(当時の耐震基準に対応)	耐震性
昭和 56 年 5 月 以前	×
昭和 56 年 6 月 ~ 平成 12 年 5 月	△
平成 12 年 6 月 以降	○

横浜市 地震マップ

横浜市 耐震診断

横浜市 耐震改修

横浜市 ブロック塀

建物相談

ハマ建

(一社)横浜市建築士事務所協会



昨年 12 月から今年 3 月にかけて、JR 鶴見線において 80 年ぶりの新型車両として E131 系 3 両×8 編成で総入替が行われた。かつて鶴見線は「鶴見臨港鐵道」という民営の路線であった。京浜工業地帯の父といわれる浅野總一郎氏をはじめとする各財閥の創業者が協力して創設された会社である。

東亜リアルエステート(株)(旧 鶴見臨港鐵道(株)) URL <http://www.toa-real.co.jp/>

大正 15 年に貨物輸送を目的として SL による営業を開始し、昭和 5 年には旅客運輸を開始し全線電化が行われた。昭和 18 年「戦時買収」により当時の鉄道省へ経営権が譲渡され「鶴見線」に改称されたのち現在に至る。

現在の鶴見線は全長 9.7 km、鶴見駅も含めて 13 駅、鶴見駅以外は無人駅。本線は 10 駅、浅野駅から分岐の海芝浦支線が 2 駅、安善駅から分岐の大川支線が 1 駅。弁天橋駅、武蔵白石駅、昭和駅の 3 駅は最近駅舎



が新築されたが、鶴見駅の鶴見線ホームも含めて他の駅は開業当時（昭和後期の建築である。鶴見駅を除く 12 駅には、切符販売機・精算機や Suica チャージ機は無い。乗車駅証明書発行機や簡易 Suica 改札機は有る。従って、Suica 等には予め十分なチャージを行っておく必要がある。昭和駅、新芝浦駅、大川駅にトイレは無い。またトイレのある駅も鶴見小野駅、弁天橋駅、浅野駅を除いて男女共用である。大川支線には、通勤時間帯を除くダイヤが組まれていない。

鶴見線がある工場地帯の南側には、かつて京浜運河を挟んで沖堤防があった。鶴見臨港鐵道はこの沖堤防の一部の南側へ土砂を埋立、人工渚をつくった。この渚の名前が「扇島海水浴場」である。昭和 6 年より旧白石駅と浜川崎駅の間に「海水浴前」という夏季限定停留場を開設し、この近くの海岸から船で利用客を海水浴場まで運んだ。昭和 8、11、12 年はシーズンの入場者数が 20 万人を超えた。戦後沖堤防の北側へ埋立が行われた。昭和 46 年末より扇島・東扇島・大黒埠頭の本格的埋立が始まり 4 年足らずで現在の扇島の姿になった。

本線鶴見駅の次の駅は国道駅で、国道 15 号線（第一京浜）に入口が面しているためこの名がついた。この駅には昭和 20 年の米軍戦闘機による機銃掃射痕が残されており、コンクリート崩落防止のため金網が施されている。

また、大川支線の途中にある大川第 5 号橋梁にも機銃掃射痕が残されている。こちらは橋梁全体の錆止めのため時折塗装は行われているが掃射痕はそのまま残されている。双方とも説明書き等は設置されていないが、二度とこのようなことにならないようにとの人々の願いが伝わってくる。



大川第 5 号橋梁の機銃掃射痕（大川橋より）



国道駅の機銃掃射痕（国道 15 号線側）



平和であればこそその絶景（海芝浦駅ホームより）

一般の乗客が列車を降りても駅の外へ出られないので有名なのが、海芝浦支線の終点「海芝浦駅」。当初この支線は芝浦製作所（東芝）が所有していたが、昭和 7 年これを鶴見臨港鐵道が買収した。しかし鉄道施設以外は 1 つ前の新芝浦駅から終点まで東芝の私有地であるため、改札口が工場の出入口を兼ねている。観光で訪れた乗客のために東芝のご厚意で、平成 7 年プラットホームから続くミニ公園「海芝公園」が設置された。余りに海に近く外へも出られないため秘境駅とも云われ、平成 12 年「関東の駅百選」にも選定された。

（文・写真 植木幹造）



7月5日ことぶき会が自治会館で開催され、恒例の七夕飾りが有志の方々で行われました。七夕飾りに使われる竹は、仲手原一丁目にお住いの白井様より寄贈されたものです。

今年の飾り付けの短冊や紙細工の品々は、一つはことぶき会の有志が前もって手作りして揃えたものと、当日集まった方々が手作りましたものです。そして今年もまた、港北保育園の園児たちが作ってくれたものも飾りました。



七夕飾り

今年は残念なことに、当日気象庁により熱中症警戒アラートが出たため、園児たちが自治会館に来ることが出来ず、一緒に七夕飾りに参加することが出来ませんでした。来年は園児たちと共に七夕飾りが出来ますように。

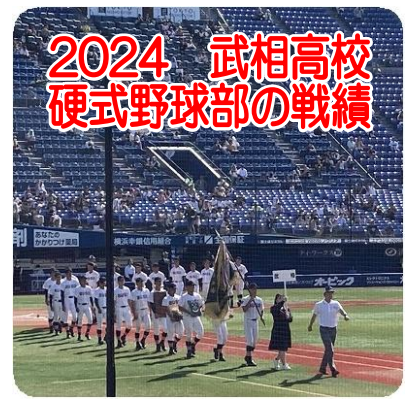


平成15年より毎年9月第3日曜日が「敬老の日」となり今年9月16日になりました。9月15日は

「老人の日」で、以後1週間は「老人週間」に制定されています。

仲手原自治会に於きましては、毎年敬老・長寿の方々にお祝品を贈呈しております。今年は77歳の方36名、88歳の方31名、99歳の方1名、100歳の方1名、106歳の方1名、一丁目二丁目男女合計70名の方々にお祝金を贈呈致しました。又70歳、75歳、80歳、85歳、90歳以上の方々合計190名に美味しいお菓子を贈呈致しました。

仲手原ことぶき会に於ても9月13日に敬老・長寿のお祝い会が開かれました。当日来場された会員の方々にお赤飯やお菓子、お酒が贈呈され、今回は「アロハレインボーズ・クワカーネーション」楽団の女性3人によるウクレレ演奏会があり、会場全員の合唱で大いに盛りあがりしました。



2024 武相高校硬式野球部の戦績  
春季神奈川大会で「武相」優勝  
5月4日 横浜スタジアム (武相学園提供)

今春に行われた神奈川大会では「武相」が見事優勝の栄冠に輝いたことは皆さんもご承知のことと思います。思い返せば「武相」が準決勝で「向上」に6-5で勝ち、5月4日の決勝戦では「東海大相模」に9-8で勝ちました。

この夏「武相」への期待は一段と大きくなりましたが、7月23日準決勝戦の相手は「横浜」で、結果は2-1の惜敗でした。優勝はその「横浜」を破った「東海大相模」でした。今年、春夏共にベスト4に残ったのは「向上」、「横浜」、「東海大相模」そして「武相」でした。既に8月17日より秋季神奈川大会の地区予選が行われ「武相」は全勝しています。9月7日開幕の本大会も9月21日の4回戦で「武相」は「横浜商業」に逆転コールド勝ちし準々決勝進出を決めています。

### 自治会だより

10月 「なかてはら」第68号発行  
空き家にしないための  
セミナー・相談会 (13日)

健康づくり体操 (15・25日)

仲手原防災訓練 (20日)

秋のふれあいまつり (9日)

港北区ペタンク大会 (10日)

仲手原寄席 (24日)

年末たすけあい募金のお祝い  
「日の出を見る会」 (21日)

自治会館年末大掃除 (21日)

1月 港北駅伝大会 (19日)

### 子供会だより

11月 紙ヒコーキ大会 (4日)

2月 節分豆まき大会 (2日)



### 編集スタッフ

植木幹造・押尾泰典・  
加藤篤志・山口美和

編集責任者…中村泰雄